

平成28年度のスケジュール(案)

| | 検討委員会 | アンケート調査 | 意見交換会 | PTA役員等 |
|-----|---------------------------------|--------------------------------|---------------------|---------------------------|
| 5月 | 第1回(25日) 委員意見交換実施 | | | |
| 6月 | | | | 唐竹小学校PTA 役員意見交換会 実施 |
| 7月 | | | | |
| 8月 | 第2回(17日) 委員意見交換実施 | | 唐竹小学校保護者 意見交換会実施 | |
| 9月 | | | 双峰小学校保護者 意見交換会 | 双峰小学校PTA 役員意見交換会 |
| 10月 | 第3回(第4週頃) 委員意見交換・意識 調査検討 | | 両校地域住民 意見交換会 | |
| 11月 | | 両校児童保護者と 未就学児意識調査 教員意識調査 | | |
| 12月 | 第4回(第1週頃) 委員意見交換・意識 調査結果等 | | | |
| 1月 | | | | |
| 2月 | 第5回(第4週頃) 委員意見交換 | | | |
| 3月 | | | | |

※PTA役員との意見交換会は、学校会議室にて開催予定。

※保護者・地域住民との意見交換会は、学校体育館にて開催予定。

より良い教育環境の実現に向けた可能性について

双峰小学校と唐竹小学校は児童数が少人数であることにより、子どもたちひとりひとりに、目のいきとどいた教育を行っています。

一方で、双峰小学校と唐竹小学校の優れた教育と教育環境を引き継ぎつつ、統合することにより「豊明市モデル事業」として、より良い教育環境を実現できる可能性もあります。

例えば、少人数指導や習熟度別指導などの多様な指導形態を充実し、施設整備を改善し教材教具を充実させ、教育活動を展開しやすくなるメリットがあります。

今後は、指導体制や指導方法、施設・設備整備等について本検討会の意見、教職員や他の自治体の先行事例を参考にし、具体的に提示していきます。

<指導体制について(案)>

(人)

| | 双峰小 | 唐竹小 | 統合した場合 | 効果 |
|------------|-----|-----|--------|-----------------------|
| 教員補助 | 1 | 1 | 6 | 学力向上に向けた指導体制の充実 |
| 特別支援員 | 3 | 2 | 5 | 特別支援員の充実 |
| 学校図書館運営補助 | 1 | 1 | 2 | 図書館教育の充実(低学年1人 高学年1人) |
| 定住外国人日本語教育 | 5 | 2 | 7 | 外国人児童に対する教育の充実 |
| ※日本語指導員 | 2 | 1 | 4 | 外国人児童に対する教育の充実 |

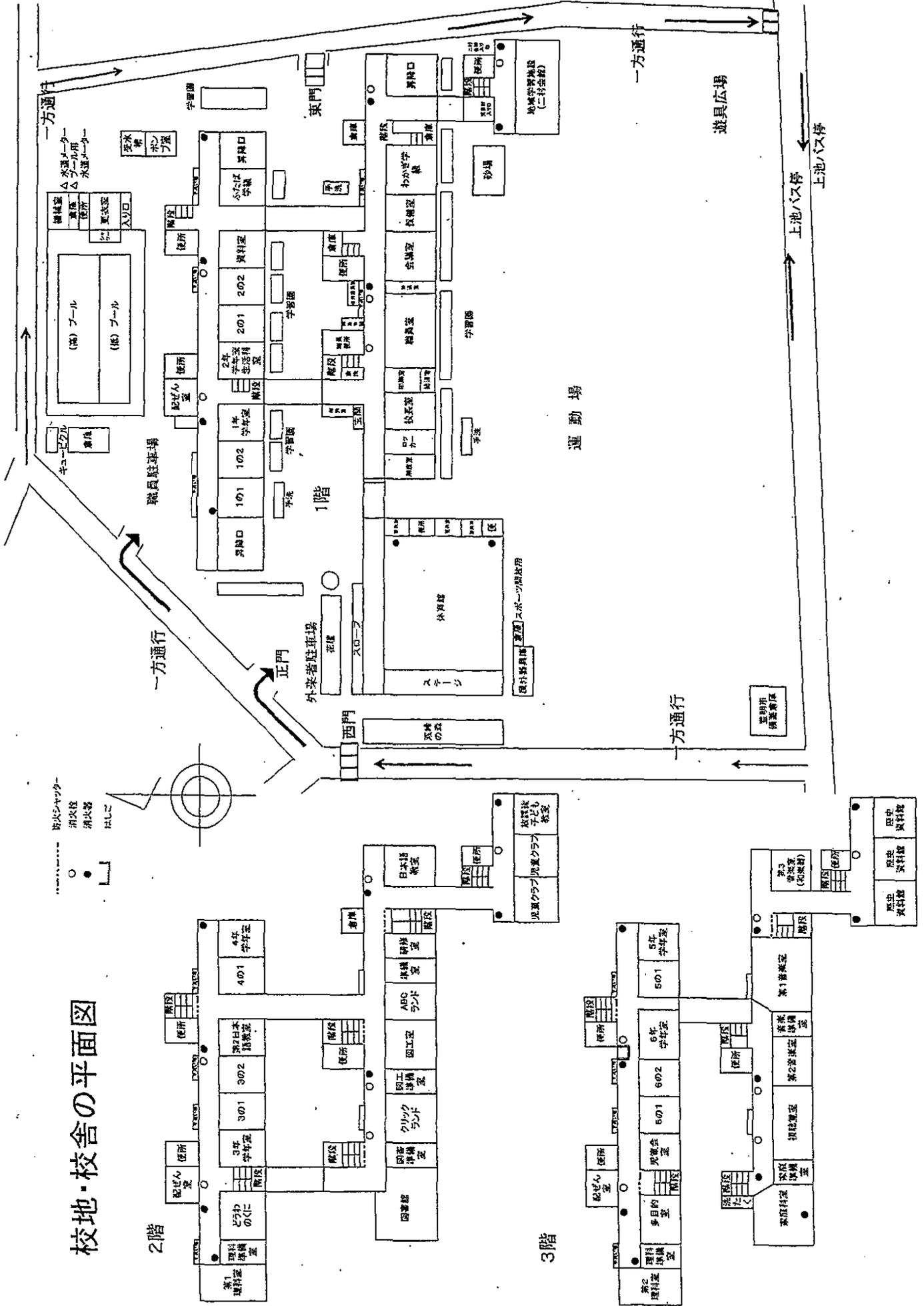
※その年度の「日本語教育を必要とする児童数」によって変動

<施設・設備整備について>

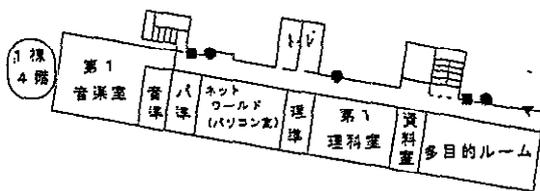
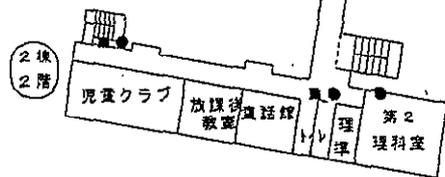
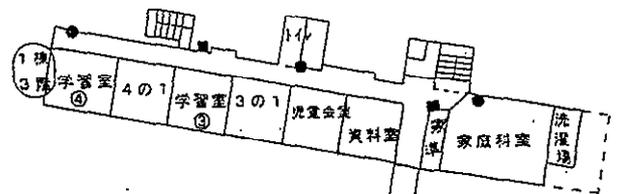
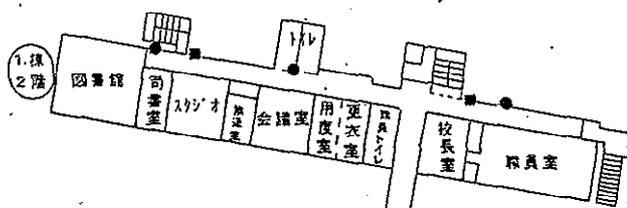
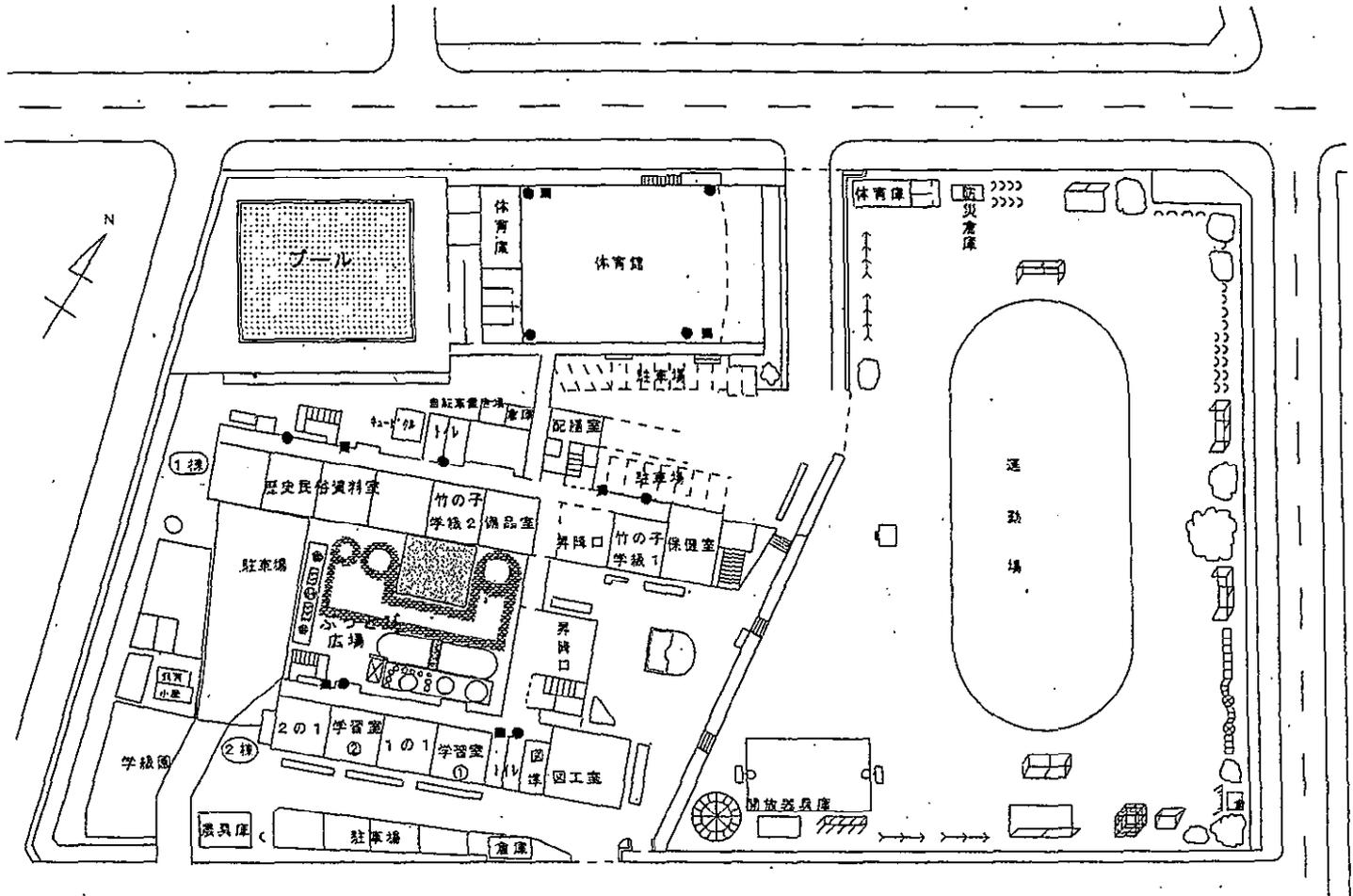
(室)

| 特別教室 | 双峰小学校 | 唐竹小学校 |
|--------|-------|-------|
| 理科 | 2 | 2 |
| 音楽 | 3 | 2 |
| 図画工作 | 1 | 1 |
| 家庭 | 1 | 1 |
| 視聴覚 | 1 | |
| コンピュータ | 1 | 1 |
| 図書室 | 2 | 2 |
| 特別活動 | 1 1 | 8 |
| 教育相談 | 1 | |

校地・校舎の平面図



校地・校舎の平面図



- 消火栓
- 消火器
- 防火シャッター
- ▼ 救助袋

唐竹小学校児童保護者との意見交換会での意見

資料3

平成28年6月25日(土)に唐竹小学校PTA役員等から意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

| 内 | 容 |
|---|--|
| | より良い教育とは具体的にどういうことですか。 |
| | 児童数が増えることによる、メリット・デメリットを教えてください。 |
| | いじめの認知件数を知りたいです。学校規模を原因として発生件数は違うのですか。 |
| | 東京では越境通学ができそうです。豊明市は越境通学を導入する考えはありませんか。 |
| | 学校が多いのであれば、この優位性を生かした人口増加策を考えてはどうでしょうか。 |
| | 新聞で公共施設3割削減とありました。今回の統合は公共施設削減と関連はありますか。 |
| | 保護者から統合への理解を得るには、財政面の説明も必要であると思います。 |
| | 唐竹小と双峰小で統合に対する温度差を感じています。双峰小に統合する方向性で進んでいるからではないでしょうか。 |
| | 現在、通学に30分要している。統合後、さらに時間を要することになった場合、対策は考えていただけますか。 |
| | 統合することで、先生の手厚い指導が薄れてしまわないですか。 |
| | 統合に関する発信は考えています。 |

唐竹小学校児童保護者との意見交換会での意見

平成28年8月16日(火)に唐竹小学校児童保護者から意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

| 内 容 |
|---|
| 統合という結論がでた場合、唐竹小、双峰小のどちらに統合されるかは分かりませんが、仮に双峰小に統合となった場合、唐竹小は空くことになり、防災拠点となっている以上、耐震工事が完了しているという解釈でよいですか。 |
| どちらか一方に統合すると、教育者(先生)の人数は減るのではないですか。 |
| 学校を統合して子どもたちの教育の質を落とさないように教育者(先生)の人数を減らさないような施策を行い、一方で防災拠点として建物を残すため維持管理を行う。ということは、市の財政面から見れば、プラスマイナスゼロではないですか。 |
| 統合となった場合、統合「する」側より統合「される」側にメリットがあるべきと思います。総合的に見れば統合はメリットがあるのかもしれないが、小学校の規模を適正にしてクラス替えができるということにメリットが見出せません。 |
| 検討委員会の委員が来ると思っていた。委員の構成を教えてください。 |
| この会で出された意見を検討委員会に上げるのではなく、検討委員会で諮った内容をもって意見交換会とするべきではないですか。 |
| 小学校統合は市が強行で行うのですか。統合の撤回もありえますか。 |
| 「よりよい教育環境」というが、何をもって「よりよい教育環境」と言っているのか見えません。 |
| 統合したいのであれば、市が考える統合によるメリットやデメリットを具体的に提示すべきでないですか。 |
| 意見交換会は何回開催しますか。また、両校以外の保護者にも説明をするのですか。 |
| 統合せずに現状のままでクラス替えをするという選択肢はないですか。子どもたちの環境の変化をなるべく少なくしてもらいたいです。 |
| 市内小学校の1クラスあたりの平均人数は20~30人程だが、唐竹小と双峰小が統合した場合、1クラスあたりの人数が30人を越えることになる。これは教育の質が落ちることにならないですか。 |
| 唐竹小学区の0歳から12歳までの推移があるが、双峰小学区の数値がない。統合だというのであれば、両方の情報がなければおかしい。 |
| 学区の再編は行わないとの結論が出たと思うが、再編は選択肢としてないですか。行われないのであればその理由を教えてください。 |

中長期的に見れば、唐竹小、双峰小だけに限らず、周辺の小学校も含めたものでなければならないように思う。市全体で最も合理的な形を考え、そのひとつとして両校の統合を検討していくべきだと考える。

国の指導とのことだが、唐竹小と双峰小の現状を見て統合検討ということで短期的なところしか見ていないようにとれる。人口の推移などからもっと長期的に判断すべきだ。統合が反対だと言っているわけではない。今回の検討で仮に統合となっても、何年後かに地区人口の増減が生じたため、同じような検討を繰り返すことだけは避けてほしい。そのためにもしっかりと考えて結論を出してほしい。

「教育環境の整備」と「課題の解決」からなぜ「統合」につながるのか。子どもたちのことを考えていただいているのは非常に嬉しいが、一方で子どもたちをどういう風に考え、またどうなって欲しいという思いがあるの「統合」という結論に至るのが知りたい。思いは伝わるが、クラス替えができて先生が増えることが子どもにとって良いことなのだろうか。子どもたちにどう説明したら良いか分からない。

唐竹小には、これまででも1～2クラスで6年間過ぎて卒業していった生徒がたくさんいるが、市が主張する複数クラスでの「競争心の育成」や「切磋琢磨」といったメリットを受けてこれなかった卒業生は、社会に出てハンデを背負っていると思いますか。統廃合を行わなかったとしたらメリットがないという結論にはならないのではないですか。

検討委員会の情報や内容はどのように入手したらよいですか。

市は統合によって教員が一人増えることがメリットだと考えているようですが、現状の唐竹小や双峰小は他の小学校よりも学力が劣っているということですか。教員が一人増えるだけでそんなに学力があがるのですか。

子供の意見もぜひ聞いてほしい。

唐竹小と双峰小の統合検討なのに、双峰小で意見交換をしていないのはなぜですか。市が唐竹小を潰そうとしているようにとれます。

少人数は少人数なりのメリットがあります。施設利用や部活動、学級活動など大人数学級に比べてチャンスが広がる。国からの指導だからといって少人数学級をダメだとするのは、おかしいと思います。

市長が公約のひとつに「人口増加」を掲げているなら、唐竹校区に人口を増やし、学校を維持するという考えはないのですか。

仮に統合となって唐竹小の生徒が双峰小へ通うこととなった場合、全員が双峰小へ行かなければならないのですか。地区によっては、一部が三崎小へ通うということも考えられないか。通学の件も含め、子どもたちの安全を最優先に考えて欲しいです。

統合すると、学年によっては先生1人あたりが担任する生徒数が増えることになる。補助教員をつけたとしても見切れない部分がでてくるのではないですか。

国からの指導に従って、必ず統合しなければならないのですか。

教育委員会が市長に示した答申の内容を教えてください。

検討委員会が結論を出す期日を決めているのですか。仮に、検討委員会で統合しないという結論が出た場合、市としてはその結論を尊重するのですか。また、その結果はどのように保護者などに知らせるのですか。

統合におけるメリットだけでなく、デメリットや統廃合における課題、こどもたちの心のケアなどもしっかりと示すとともに、デメリットを最小限に抑えるような施策を考えるなど、統廃合までのロードマップをしっかりと作成してほしい。